

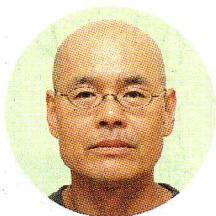
佐藤 昭二さん (49)

東京の緑化会社勤務などを

経て、1988年に那珂川町 11月には、私も会員になっ
てに帰り、家業の農林業に携わ ている那珂川町林業振興会が
っている。約25社の自家林の 主体となり「ドングリ交流会」
ほか、森林組合職員として間 を開く。地元の小中学生が実
伐作業や林道の草刈りなども を植え、1年間育ててきたコ
行っている。 ナラの苗を、都会の「里親」

3年前か

ら、長年放置
していた雑木
山の手入れを
始め、コナラ
を植えて原木



に手渡す。将来、里山
に戻してもらい、子供
たちが再会でできればと
思う。

外部からの視点は、

山に変えている。林床に生え するために必要。振興会も事
る日本古来の草花を都市緑化 業の柱に都市住民との交流
の資材「5×緑」として活 を掲げている。未来を担う
用するプロジェクトにも参 子供たちが少しでも林業に
加。大学教授が植生回復調査 興味を持ち、理解してくれ
に訪れたり、神奈川県内の高 れば、振興につながっていく
校生が訪れ下草刈り体験を行 と思う。

った。それが地元との交流に

(聞き手 野口広幸)

林業振興へ交流を促進